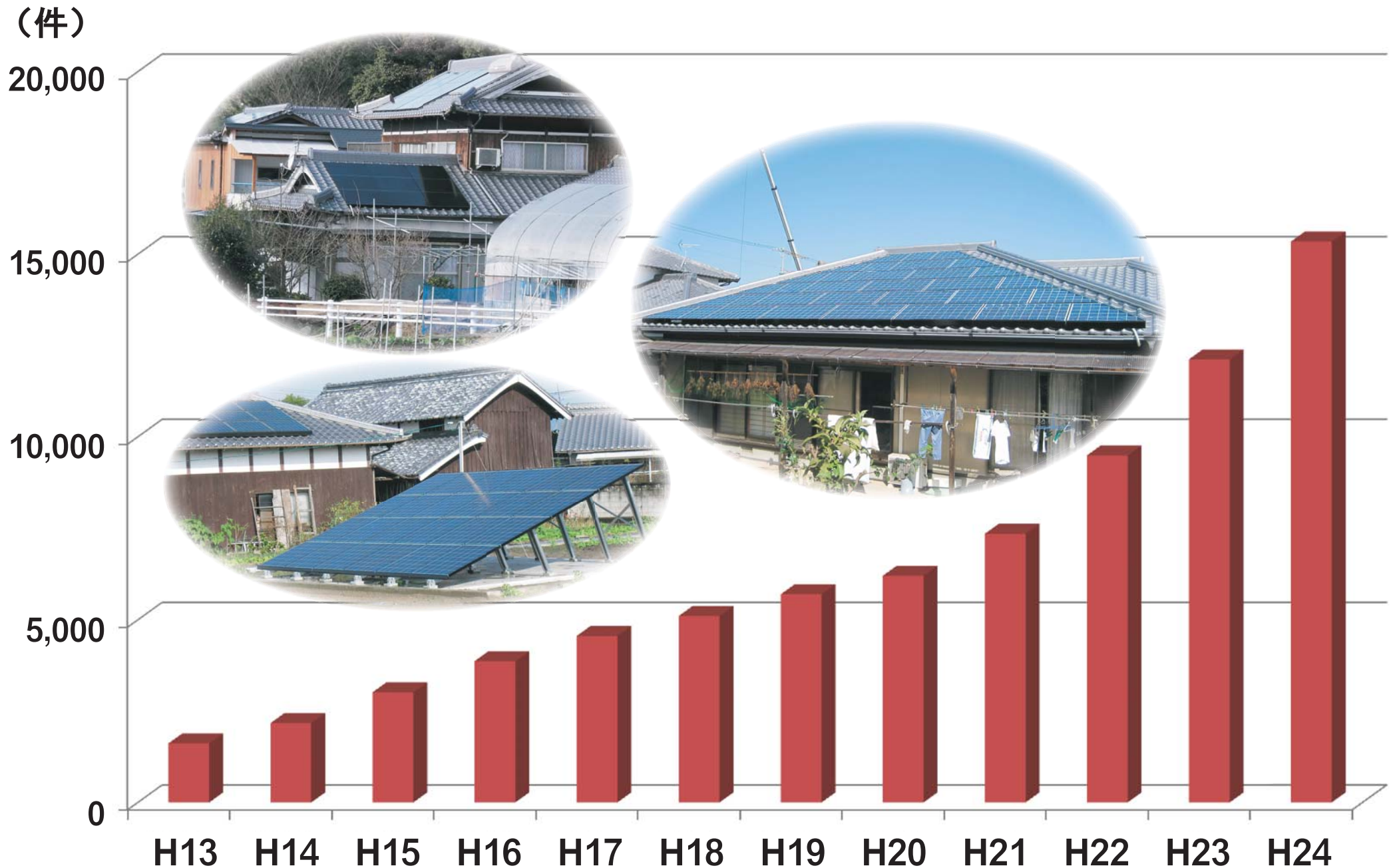
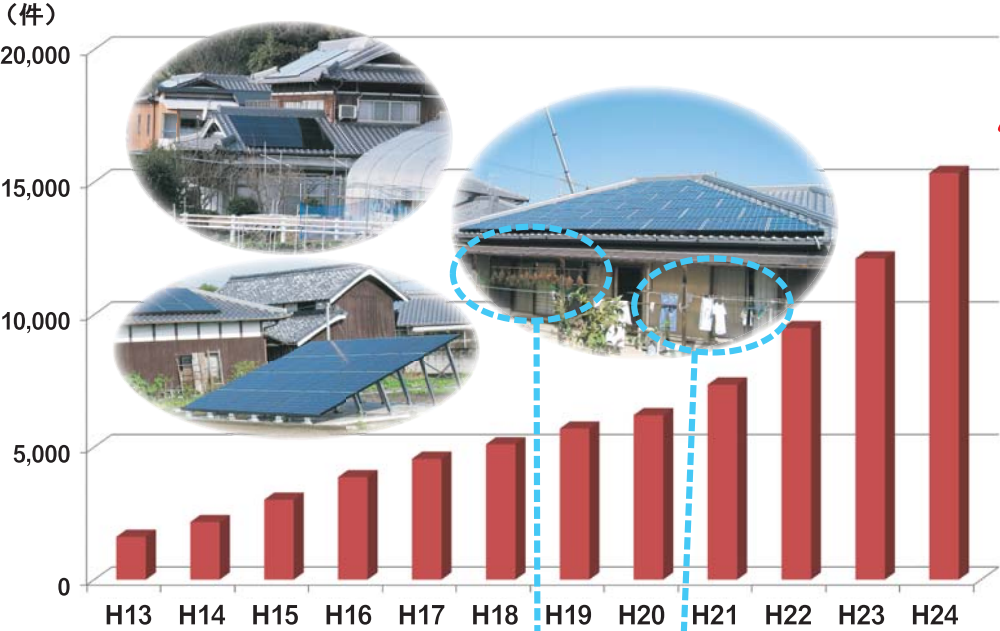


普及が進む住宅用ソーラーパネル



【ねらい】自然を生かしていた昔の住まいの中での様々な智慧や工夫がより高度に生かされる現代の住まいの事例を示すことにより、エネルギーをいかに効率よく使っていくかを考えさせます。

普及が進む住宅用ソーラーパネル



※資料53（日本の伝統的な住まい）の茅葺き屋根と比較して見ることで、香川県内の住宅風景の時代による変遷を感じることができます。

※洗濯干しのほか、家の軒に玉ねぎも干してあり、わたしたちは、暮らしの様々な場面で太陽をうまく利用していることが分かります。

【関連する各教科の学習内容】

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
社会	○飲料水、電気、ガスの確保				【地理】 ○世界と比べた日本の地域的特色（資源・エネルギーと産業） ○日本の諸地域（産業）（環境問題・環境保全）		
理科		○電気の働き					【公民】 ○私たちが国際社会の諸課題（地球環境、資源・エネルギー問題） ○私たちが国際社会の諸課題（よりよい社会を目指して） ○エネルギー ○科学技術の発展 ○自然環境の保全と科学技術の利用
技術・家庭(技術)					Bエネルギー変換に関する技術	○エネルギー変換機器の仕組みと保守点検について	
家庭			○快適な住まい方		○住生活の工夫		
技術・家庭(家庭)			○環境に配慮した生活の工夫		○家庭生活と環境		

【資料解説】

このグラフは、香川県内の住宅用太陽光発電システムの設置（導入）件数を表したものです。

●急速に普及が進む香川の住宅の太陽光発電

国や県の補助制度の創設・廃止の影響により年によって伸び率の増減はありますが、近年、住宅用太陽光発電システムの価格が下がってきていることや、平成21年11月から「太陽光発電の余剰電力買取制度」が開始されたことから、住宅用太陽光発電システムの普及は急速に進んでいます。（特に、平成19年度で一旦廃止していた県の補助制度を平成23年度から再び実施したこともあり、導入件数が大幅に伸びているのが分かります。）

●大きく変わった香川県の住宅風景

写真は、県内で太陽光発電システムを設置している住宅を撮影したのですが、昔は茅葺き屋根が見られた光景も、時代が移り、現代ではソーラー（太陽光）パネルが多く見られるようになりました。（資料53参照）

家の屋根だけでなく、農地やビニールハウス、駐車場の屋根などにも見られます。

●日照時間の長さを生かした導入率の高さ

香川県では、日照時間が長いという特性を生かして、太陽光発電の導入促進に積極的に取り組んでおり、県内の一戸建て住宅1万戸当たりの住宅用太陽光発電システム導入件数は、460.5件と全国平均の358.1件に比べ高くなっています。（全国15位（平成23年度時点））

出典：100の指標からみた香川「平成25年版」データ提供：県環境政策課
写真提供：三宅産業株式会社